

【職員研修】 てんかん発作対応研修を行いました！

4月13日、てんかん発作対応研修を実施しました。

前半は体育館にて、養護教諭よりてんかん発作に関する基本的な説明があり、その後、教員による発作対応のシミュレーションを全体で見学し、対応時の留意点について確認しました。後半は学部ごとに場所を分け、小学部・中学部ではクラスや学年単位、高等部では体育グループや作業班チームごとに、さまざまな活動場面での発作を想定した実践練習を行いました。個別てんかん発作対応マニュアルを確認しながら、より実際の場面を意識した対応について学びました。発作は、授業時間中だけでなく、教室移動中や体育のランニング中、宿泊行事先など、さまざまな場面で起こる可能性があります。万が一の際にも落ち着いて迅速に対応できるよう、職員一人一人が日頃から自分の動きを具体的にイメージしておくことが重要です。発作が起こった際には、発作を起こした児童生徒の安全確保を最優先に、頭部の保護、首や顔周りの危険物の除去、体勢の調整、そばでの状態観察、周囲の机や物品の移動などを行います。加えて、校内放送による緊急コールを担当する係（近くの職員、管理職、級外職員、養護教諭が集まるため）、周囲の児童生徒を安全に誘導・管理する係、保護者へ連絡を行う係など、役割分担を明確にして対応することを確認しました。



養護教諭からの説明



全体の前でシミュレーションをしました。